

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
高知県南国市	南国市	平成 28 年度～令和 2 年度	平成 28 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目 標※3	
総人口	47,983 人	47,336 人	46,719 人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	16,677 人	17,415 人	16,336 人	93.80%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	34.76%	36.79%	34.97%	10.34%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	3,564 人	3,325 人	3,326 人	100.03%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	7.43%	7.02%	7.12%	75.61%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	18,285 人	20,511 人	19,598 人	95.55%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	38.11%	43.33%	41.95%	73.56%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	9,457 人	6,085 人	7,459 人	122.58%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの	1	浄化槽設置整備事業	南国市	生活環境の向上と公共水域の水質保全を図るため、対象区域の住宅に浄化槽を設置する者に補助金を交付する。	平成 28 年度～ 令和 2 年度	浄化槽設置基数 418 基 平成 28 年度 79 基 平成 29 年度 82 基 平成 30 年度 83 基 令和元年度 86 基 令和 2 年度 88 基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

平成 28 年度から令和 2 年度までの浄化槽の設置予定基数を 500 基としていたが、結果は 418 基と 82 基下回り、目標は達成できなかったものの、浄化槽の汚水処理人口普及率は 38.11%から 41.95%に上昇した。

また、市域全体として人口減少傾向が続いている中で、浄化槽設置整備事業対象地域においては一段と汚水処理が推進されている。

本市においては、汚水処理人口普及率は、目標としていた 87.15%には届かなかったものの、令和 2 年度末で 84.03%と向上しており、そのうち浄化槽の占める割合が 41.95%であり、汚水処理の主軸となっている。

ただ、令和 2 年度末時点で汚水未処理人口が 7,459 人(15.97%)とまだまだ多い状況があるため、今後も浄化槽設置整備事業の継続が必要である。

(都道府県知事の所見)

地域計画の目標には達しなかったものの、人口減少が進む中で汚水処理人口普及率は平成 27 年度の 80.3%から地域計画最終年度では 84.0%と増加している。未処理人口も着実に減少していることから計画の効果は実感できるものである。

今後も継続して浄化槽設置整備事業を行い、汚水処理人口の更なる増加に期待したい。